

製品名: リン酸化 IGF1 受容体 (Tyr1166) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84866

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 155 kDa; Observed MW: 95 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-IGF1 Receptor (Tyr1166)
別名	IGF1R; Insulin-like growth factor 1 receptor; Insulin-like growth factor I receptor; IGF-I receptor; CD antigen CD221
遺伝子 ID	3480.0
SwissProt ID	P08069
免疫原	ヒト INSR/IGF-1R の Tyr1166 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

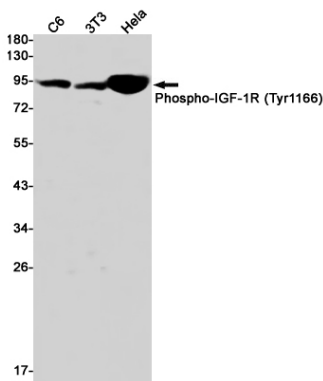
背景

この受容体はインスリン様成長因子 (IGF) と高い親和性で結合する。チロシンキナーゼ活性を有する。IGF I 受容体は形質転換において重要な役割を果たしている。前駆体の切断により α サブユニットと β サブユニットが生成される。ほとんどの悪性組織で過剰発現しており、細胞生存を促進することで抗アポトーシス剤として機能している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2014年5月]

研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

画像データ



リン酸化 IGF1 受容体 (Tyr1166) 抗体を使用した C6、3T3、HeLa 溶解物中のリン酸化 IGF1R (Tyr1166) のウエスタン プロット分析。